

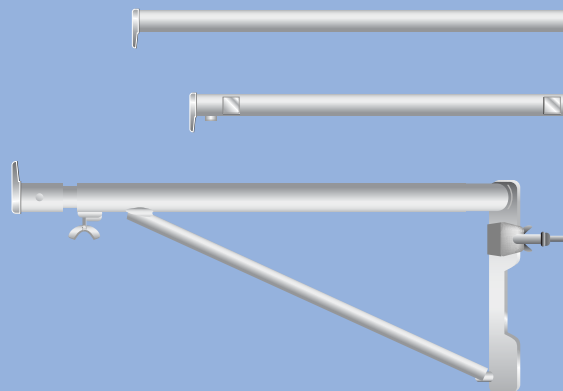
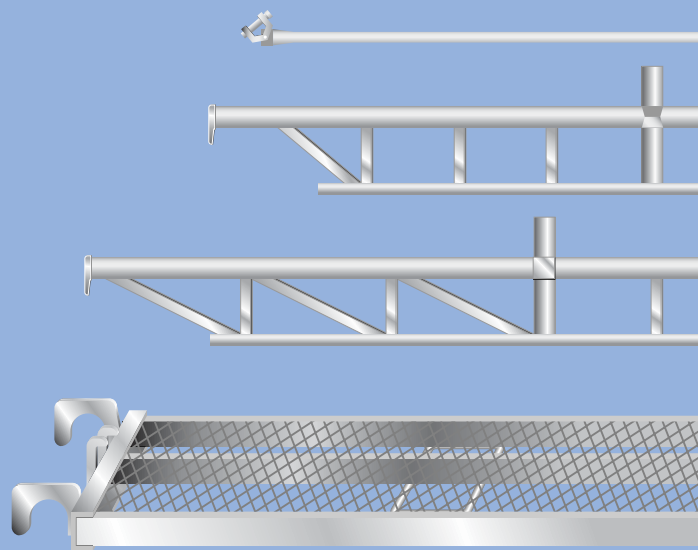
DAISAN[®]

株式会社ダイサン 証券コード:4750

第32期 中間事業報告書

平成17年4月21日から平成17年10月20日まで

AIM AT THE CREATION OF SAFETY CULTURE



Top Message



代表取締役社長
三浦 基和

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第32期中間事業報告書をお届けするにあたり、主要事業の概要、営業概況、今後の事業戦略などについてQ&A形式でご説明させていただきます。

Q ビケ足場に注目されたのは、どのようなことからでしょうか。

A 1980年代当時、住宅建築現場では丸太から鋼製足場に移行する過渡期にありました。丸太足場は、作業床や手すりが法律の定める基準を達成せず、腐っていても外部から分からないため労働災害の温床となっておりました。しかし、鋼管足場も組立に手間がかかる等の理由でなかなか普及しませんでした。そこで、当社は少人数で、しかも短時間で組立と解体が出来、作業性と安全性に秀でている足場の開発に取り組み、「楔」の原理を応用した「ビケ足場」を日本で初めて誕生させました。

Q ダイサンが成長を遂げた要因や特徴についてお聞かせください。

A 当社はこの「ビケ足場」を設計・施工および品質保証と災害補償を付加しレンタルでサービスを提供する新しいシステム＝「ビケレンタルシステム」を考案いたしました。このシステムの普及を図るために、当社直営のサービスセンターと提携会社を合わせ全国で200を超えるサービス拠点によるネットワーク網（「ビケ会」）を構築し、ビケレンタルシステムをネットワーク・ビジネスとして推進してきたことです。

Q 今後の成長戦略・新規事業への展開をお聞かせください。

A 安全文化を創造し、業界をリードする商品作りと、ビケグループ全体の情報共有化とネットワーク・ビジネスの強化を図ることです。また、現在は西日本を中心とした拠点展開を関東圏へ拡大し、新たな市場への進出も計画しております。さらに、リフォームならびに中層建築物市場への積極的な営業展開と多様化に対応した施工体制を確立し、既存の経営資源を活用し、既存部門と共鳴できる新規事業の確立を目指してまいります。

Q 本中間期の業績の概況についてご説明ください。

A 当上半期におけるわが国経済は、好調な企業収益に支えられ設備投資の増加をはじめ個人消費・雇用・所得環境等に改善が見られ、概ね緩やかな回復基調で推移してまいりました。また、当社に関連の深い建設・住宅業界におきましても、新設住宅着工戸数はマンションを中心とした分譲住宅は好調な推移を見せましたが、戸建住宅は低調な動きとなりました。

このような状況の中で当社は、原価管理の徹底による収益重視の経営を図るとともに、新規拠点の開設、新製品の開発と販路の拡大、提携会社で構成されるビケグループへの地域支援活動の強化と情報の共有化を通してビケ事業の活性化に取り組んでまいりました。

この結果、当上半期の売上はレンタル部門で1億44百万円増の25億79百万円（前年同期比5.9%増）、販売部門

で70百万円増の15億70百万円（前年同期比4.7%増）の増収となりました。損益面におきましては、引き続き諸経費の削減に努めた結果、営業利益は15百万円増の3億36百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益は21百万円増の3億57百万円（前年同期比6.5%増）、中間純利益は76百万円増の2億37百万円（前年同期比47.0%増）の増益となりました。

Q 株主様へ向けての施策など、今後の方針についてお聞かせください。

A 当社は、業績が景気変動の影響を大きく受ける中で、株主の皆様への利益還元と業績を拡大していくための内部留保とのバランスを考慮し、利益の状況に応じて適切な配当を行う事を基本方針としております。また、内部留保金につきましては、業界環境の厳しい中、継続的な業績の伸張を図るため、事業拡大と経営基盤の強化に重点的な投資をしております。今後の見通しにつきましては、日本経済は持続的な回復基調を歩むものと予想されますが、原油や鋼材の価格動向が内外経済に与える影響には留意する必要があり、依然として不透明な状況が続くものと思われまます。

このような環境のもとで当社は、引き続き徹底した原価管理による収益重視の経営と施工力の増強を図りながら、売上の一層の拡大と適正利益の確保を目指してまいります。

通期の業績の見通しにつきましては、売上高9,000百万円、経常利益750百万円、当期純利益410百万円を予定しております。



BI-KE
RENTAL SYSTEM

『ビケ足場とビケレンタルシステム』



1 ビケ足場とはどういうものですか？

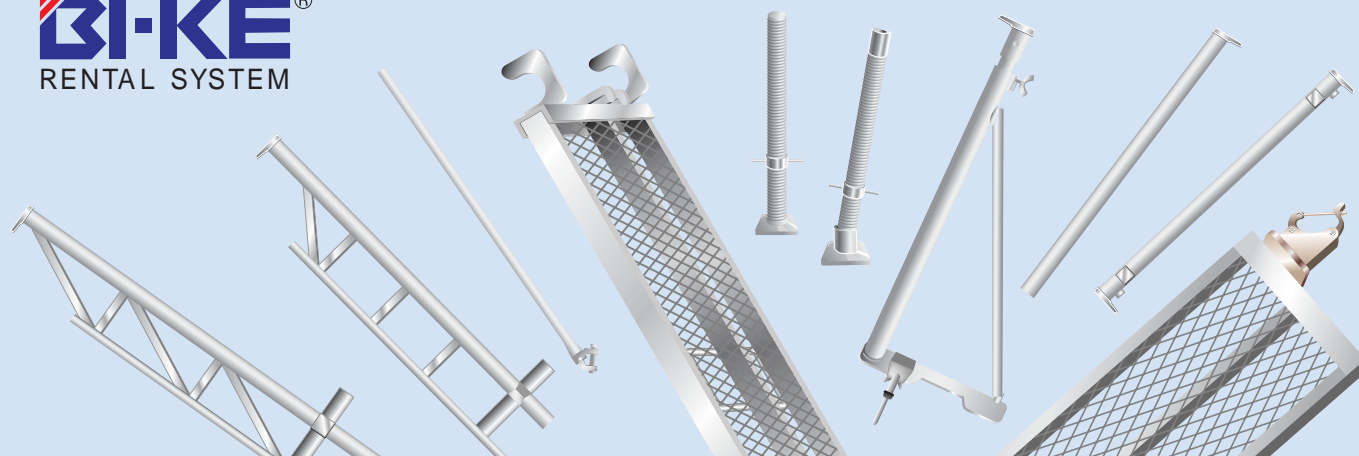


足場が安全な作業、作業効率アップに不可欠な道具であるなら、足場部材は十分な強度があり、作業性に優れていて、安心して使えることが絶対条件です。さらに足場の組立・解体時間も建築工程の一つとするなら、いかに短時間で組立・解体が出来るかということも、足場部材に要求される重要な要素となります。それらの要素を十分に組み込み、優れた材質と独創的な機能を持つのが、「楔」の原理を応用した「ビケ足場」です。より安全で作業のしやすい環境づくりに欠かせない足場です。

2 ビケレンタルシステムとは？

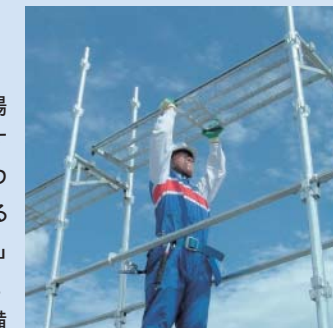
ハンマー1本で施工が可能で、土地の起伏や建物の形状にかかわらず設置でき、建物との接続なしに自立する…といったそれまでの住宅用足場にはない画期的な特徴を持つ「ビケ足場」

BI-KE®
RENTAL SYSTEM



が誕生しました。私達はこの「ビケ足場」を、設計・施工付きでレンタルすることを考えました。足場を提供するのではなく、安全を提供する、というコンセプトのもとに品質保証体制の確立を目指し、2000年7月に業界初のISO9001を認証取得するとともに、その取り組みの一環として住宅建設現場での施工品質を大幅に向上させるための「ダイサンデジタルカメラ施工検証システム(商標名:撮っ太くん)」を構築させました。また、ビケレンタルシステムは、現場の下見、検地から始まり、検地に基づいて足場設計図を作成。個々の部材を効率よく組み合わせ、安全への相乗効果を最大限に引き出すシステムをプランニングし、それに必要な部材や技術と合わせてレンタル。熟練者から経験の浅い職方まで、誰でも安心して快適に作業できる足場を提供します。仮設中は定期的に安全パトロールを実施。正しく足場が組まれているか、現場の安全を確認します。現場美観、近隣対策にも考慮し、フェンス、

トイレ、養生材など、現場自体をトータルに管理することも行います。「建つ前から、良い家が出来る雰囲気を感じさせる現場」を私達は目指しています。さらに、万一の事故に備えての補償制度も充実しています。現場での第三者に対する賠償事故にそなえた損害賠償責任保険、政府労災の一人親方特別加入制度によるビケ会サービスマン労災防止組合、サービスマン共済制度である共済会の運営とその補償システムなど、あらゆる角度から現場作業をサポートする体制を構築し、この総合的な対応は、安全の確保をコストと考える大手住宅メーカーから高い評価を得ております。



レンタル事業

ピケ足場を設計・施工および品質保証と災害補償を付加しレンタルでサ-ビス提供する「ピケレンタルシステム」を現在、当社直営のサ-ビスセンタ-とピケ足場を販売した提携会社

を合わせ全国200を越えるサ-ビス拠点で展開しております。クサビ式足場のトップブランドとして安全の確保をコストと考える大手住宅メ-カ-から高い評価を得ております。



販売事業

販売は主力製品であるピケ部材の他、ビルなどの中高層建築工事や橋梁などの土木工事で使われる一般仮設材を取り扱っております。これらの製品は、その全てが現場からの発想により作り出されたものです。現場に足

運び、作業者の話に耳を傾け、実際に足場を登る...そこで得た情報や着想に独自のノウハウをプラスすることによって、アイデアあふれる製品を誕生させております。

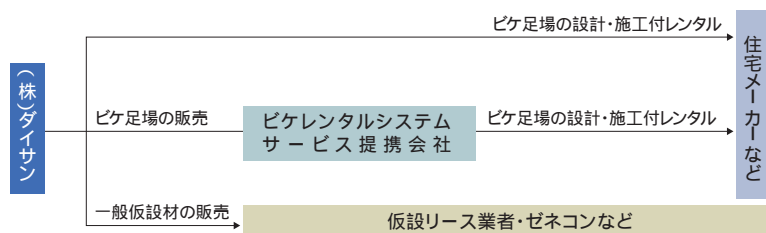
住環境事業

足場を使用して作業する商品を事業コンセプトに、太陽光発電システムや外装工事などの住環境分野に新たな展開を行っております。当社の強みである「ピケ足場」を太陽光・外装工事にシステム化して販売していくことに

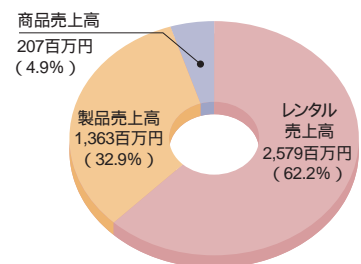
より、現場の利便性や安全性の向上、現場作業者の一元管理、コスト削減等を実現します。さらに、経営資源を有効に活用できるビジネスモデルの構築にも積極的に取り組んでおります。



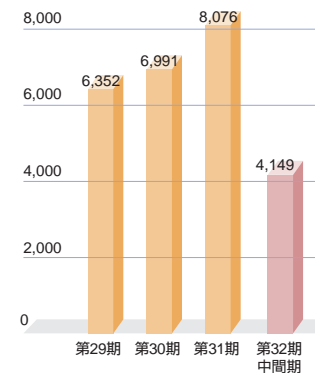
レンタル及び販売の概要図



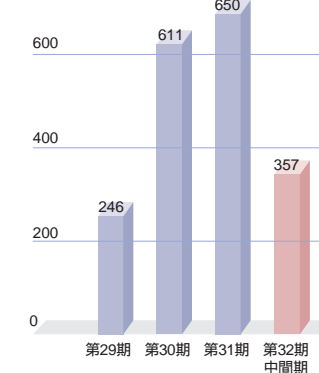
売上高構成比(第32期中間期)



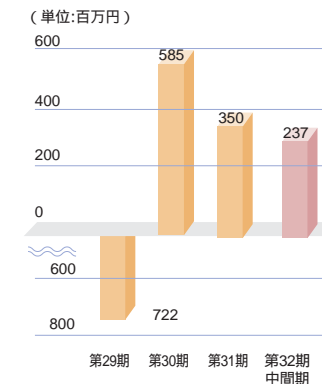
売上高(単位:百万円)



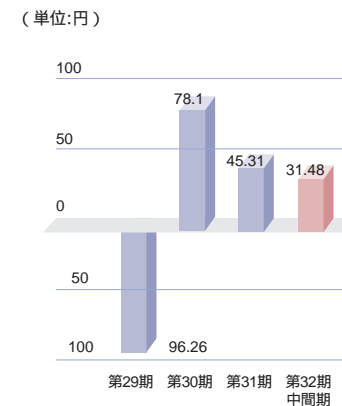
経常利益(単位:百万円)



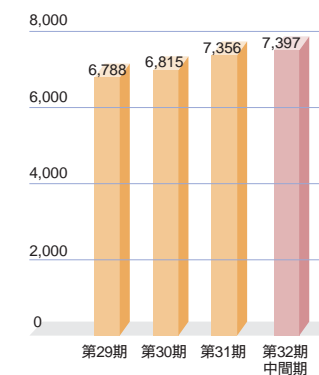
中間(当期)純利益または中間(当期)純損失



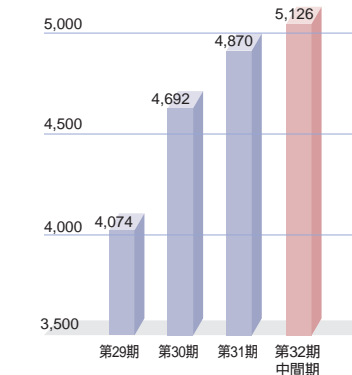
1株当たり中間(当期)純利益または中間(当期)純損失



総資産(単位:百万円)



株主資本(単位:百万円)



中間貸借対照表

科目	当中間期 平成17年10月20日 現在	前中間期 平成16年10月20日 現在	前期 平成17年4月20日 現在
資産の部			
流動資産	4,479,489	4,125,170	4,473,895
現金及び預金	671,612	975,996	1,045,876
受取手形	941,087	856,679	963,539
売掛金	1,645,470	1,446,493	1,454,459
たな卸資産	1,100,132	736,694	902,689
繰延税金資産	112,243	84,427	92,827
その他	36,912	50,861	41,635
貸倒引当金	27,971	25,986	27,132
固定資産	2,918,387	2,734,753	2,882,584
有形固定資産	1,747,628	1,753,428	1,764,818
建物及び構築物	243,892	252,679	250,639
土地	1,382,175	1,382,175	1,382,175
その他	121,559	118,572	132,003
無形固定資産	145,502	43,361	137,819
投資その他の資産	1,025,256	937,963	979,946
投資有価証券	423,673	286,593	310,979
差入保証金	166,012	157,892	159,099
繰延税金資産	181,773	254,274	222,622
その他	337,795	341,131	368,450
貸倒引当金	83,998	101,928	81,205
資産合計	7,397,877	6,859,923	7,356,480

(単位:千円)

科目	当中間期 平成17年10月20日 現在	前中間期 平成16年10月20日 現在	前期 平成17年4月20日 現在
負債の部			
流動負債	2,167,276	1,966,521	2,350,912
支払手形	574,069	535,161	572,664
買掛金	509,203	512,648	499,282
短期借入金	400,000	-	450,000
1年内返済長期借入金	33,200	403,500	49,600
未払法人税等	177,087	56,492	207,833
未払費用	180,177	123,966	131,037
賞与引当金	138,714	121,532	142,697
その他	154,823	213,219	297,797
固定負債	104,241	168,311	134,606
長期借入金	25,300	58,500	41,900
役員退職慰労引当金	77,700	77,800	80,500
その他	1,241	32,010	12,206
負債合計	2,271,518	2,134,833	2,485,518
資本の部			
資本金	566,760	546,550	546,550
資本剰余金	649,860	629,650	629,650
利益剰余金	3,857,601	3,554,080	3,697,577
その他有価証券評価差額金	56,728	782	1,774
自己株式	4,590	4,408	4,590
資本合計	5,126,359	4,725,090	4,870,961
負債・資本合計	7,397,877	6,859,923	7,356,480

中間損益計算書

科目	当中間期 平成17年4月21日から 平成17年10月20日まで	前中間期 平成16年4月21日から 平成16年10月20日まで	前期 平成16年4月21日から 平成17年4月20日まで
売上高	4,149,579	3,934,613	8,076,818
売上原価	2,706,024	2,557,950	5,317,796
売上総利益	1,443,554	1,376,662	2,759,021
販売費及び一般管理費	1,107,035	1,055,159	2,134,598
営業利益	336,519	321,503	624,423
営業外収益	24,962	19,706	38,562
営業外費用	4,430	5,928	12,085
経常利益	357,051	335,281	650,900
特別利益	32,262	25,562	65,544
特別損失	-	1,139	1,703
税引前中間当期純利益	389,313	359,703	714,741
法人税、住民税及び事業税	168,000	49,000	194,000
法人税等調整額	16,269	149,133	170,630
中間(当期)純利益	237,582	161,570	350,110
前期繰越利益	272,223	224,715	224,715
中間配当額	-	-	45,042
中間(当期)末処分利益	509,806	386,285	529,782

(単位:千円)

中間キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 平成17年4月21日から 平成17年10月20日まで	前中間期 平成16年4月21日から 平成16年10月20日まで	前期 平成16年4月21日から 平成17年4月20日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	189,593	305,690	406,208
投資活動による キャッシュ・フロー	73,907	5,451	70,364
財務活動による キャッシュ・フロー	110,763	437,266	402,991
現金及び 現金同等物の 減少額	374,264	137,027	67,147
現金及び 現金同等物の 期首残高	1,045,876	1,113,023	1,113,023
現金及び 現金同等物の 中間期末(期末) 残高	671,612	975,996	1,045,876

(単位:千円)

会社概要 (2005年10月20日現在)

商号	株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.
設立	昭和50年4月1日
本社	大阪市中央区北久宝寺町三丁目6番1号
資本金	566,760,000円
従業員	252名

役員構成 (2005年10月20日現在)

代表取締役社長	三浦 基和
取締役	上村信太郎(レンタル事業本部本部長)
取締役	野村 耕三(ビケ事業推進室リーダー)
取締役	住川 章雄(管理本部本部長)
監査役(常勤)	森 義明
監査役	藁 薫(弁護士)
監査役	石 光仁(公認会計士)
執行役員	藤田 武敏(住環境事業部部長)
執行役員	浮田 福一(販売本部本部長)

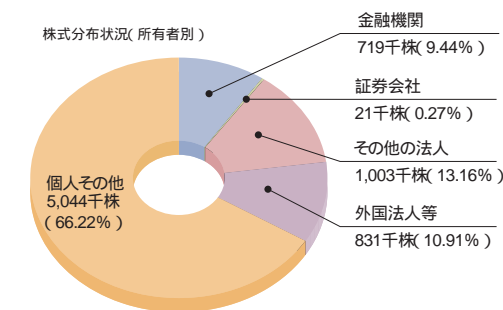
事業所 (2005年10月20日現在)

本社	大阪市中央区	山口サ-ビスセンタ-	山口県下関市
堺工場	大阪府堺市	東山口サ-ビスセンタ-	山口県玖珂郡周東町
商品センタ-	大阪府堺市	福岡サ-ビスセンタ-	福岡県古賀市
東京支店	東京都中央区	西福岡サ-ビスセンタ-	福岡県糸島郡二丈町
九州支店	福岡県古賀市	南福岡サ-ビスセンタ-	福岡県久留米市
名古屋南サ-ビスセンタ-	愛知県海部郡弥富町	福岡東サ-ビスセンタ-	福岡県京都郡勝山町
大阪サ-ビスセンタ-	大阪府堺市	北九州サ-ビスセンタ-	福岡県北九州市
大阪北サ-ビスセンタ-	大阪府枚方市	大分サ-ビスセンタ-	大分県大分市
京奈サ-ビスセンタ-	京都府相楽郡木津町	大分北サ-ビスセンタ-	大分県宇佐市
神戸サ-ビスセンタ-	兵庫県加古川市	熊本サ-ビスセンタ-	熊本県熊本市
滋賀サ-ビスセンタ-	滋賀県草津市	北熊本サ-ビスセンタ-	熊本県玉名郡南関町
京都サ-ビスセンタ-	京都府亀岡市	大阪整備工場	大阪府堺市
北神戸サ-ビスセンタ-	神戸市北区	北神戸整備工場	神戸市北区
広島サ-ビスセンタ-	広島県東広島市	南福岡整備工場	福岡県久留米市
岡山サ-ビスセンタ-	岡山県倉敷市	九州教育研修所	福岡県久留米市

*従来の北九州サ-ビスセンタ-の名称を「福岡東」とし、新たに北九州市に開設したサ-ビスセンタ-の名称を「北九州」といたしました。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	26,000,000株
発行済株式の総数	7,618,000株
株主数	627名



大株主の状況 (2005年10月20日現在)

	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
三浦基和	1,248,000	16.43
バンク オブ ニューヨーク	725,000	9.54
ダイサン取引先持株会	514,000	6.77
有限会社和顔	424,000	5.58
大原春子	343,200	4.52
ダイサン従業員持株会	304,160	4.00
金沢昭枝	275,200	3.62
三浦民子	271,000	3.57
大阪中小企業投資育成(株)	200,000	2.63
(株)UFJ銀行	180,000	2.37

(注)「バンク オブ ニューヨーク」の正式株主名は、次の通りです。
「バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウンツ イーアイエスジー」

株主メモ

決算期	毎年4月20日
定時株主総会	毎年7月
利益配当金受領株主確定日	4月20日
中間配当受領株主確定日	10月20日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	(〒541-0041) 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 電話 大阪(06)6202-7361
郵便物の送付先	郵送の場合は、上記事務取扱場所あてに直送ください。
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

1単元の株式数	1,000株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第二部

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求および名義書換請求に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031
およびインターネットのホームページ
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
で24時間受付しております。
なお、証券保管振替制度をご利用の方は、恐れ入りますが
お取引の証券会社へご照会ください。

ウェブサイトの ご案内

当社の企業活動、製商品など
に関する詳しい情報につきましては「ダイサンホームページ」
でご覧いただけます。



URL <http://www.daisan-g.co.jp/>

DAISAN[®]
株式会社ダイサン